



NPO 脳腫瘍ネットワーク
法人 JAPAN BRAIN TUMOR ALLIANCE

脳腫瘍とは

脳と頭蓋骨の中にできる腫瘍の総称です。脳を覆う膜から発生する髄膜腫(ずいまくしゅ)も脳腫瘍の仲間に入ります。良性から悪性のものまで様々な種類があり、病理診断によって予後(治りやすさ)も異なります。また小児と成人では、種類や発症部分に大きな違いが見られます。脳神経組織自体から発生する原発性脳腫瘍と、他の臓器のがんが脳へ転移してきた転移性脳腫瘍の2種類があり、成人は人口10万人に12人の割合、小児は10万人に1人の割合で発症すると推定されています。



主な症状

主として頭痛が挙げられますが、腫瘍ができた場所によって症状が異なります。

症状：頭痛、吐き気、めまい、手足の麻痺やしびれ、視力視野障害、歩行困難、認知障害、聴力低下など

脳腫瘍の原因

原発性脳腫瘍の原因はいまだ未解明です。

脳腫瘍の種類

大きくは、原発性の脳腫瘍か転移性の脳腫瘍かで分けることができます。原発性の脳腫瘍については、良性か悪性か、種類も細かく分かれます。

脳腫瘍と診断されたらいろいろなお悩みが生じます。
どこに相談すればよいか、JBTAでアドバイスを差し上げられます。

- 腫瘍の位置と大きさ
- 病理診断
- 治療の方向性
- 治る可能性
- QOL
- 手術の必要性とリスク
- 化学療法の説明
- 放射線治療の説明
- 交流電場腫瘍治療について
- 緩和ケア
- 治療に対する経済的な心配

私たちNPO法人脳腫瘍ネットワーク(JBTA)は全国の脳腫瘍患者とその家族を支援するための患者・家族・医療関係者などの集まりです

連絡先

NPO法人JBTA事務局

〒233-0006 神奈川県横浜市港南区芹が谷1-15-12

TEL/FAX:03-3637-5185

理事 田川尚登

E-mail : toiawase@jbta.org

Contact Information

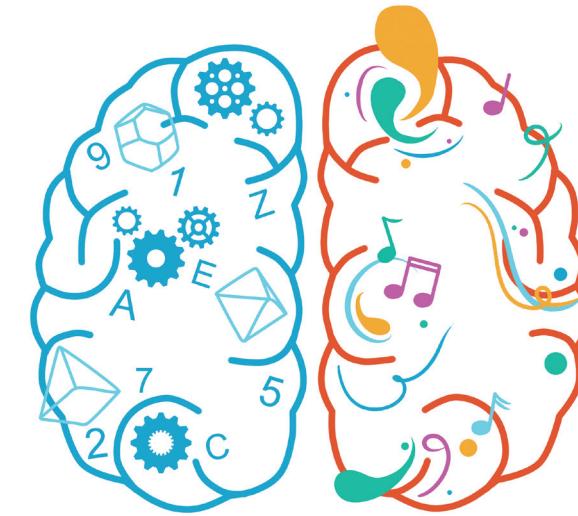
NPO JBTA Secretariat

1-15-12 Serigaya,Konan,Yokohama,Kanagawa

Zip code : 233-0006 Tel / Fax : 03-3637-5185

Laureline Gatellier

E-mail : laureline@jbta.org



NPO法人 脳腫瘍ネットワーク のご紹介

Introduction to Japan Brain Tumor Alliance

一緒に脳腫瘍を戦いましょう
Fight Brain Tumor Together!

www.jbta.org

詳しくは弊NPOのウェブサイトにてご確認ください
Find more at : www.jbta.org

JBTA活動のご紹介

診断前のご相談から、治療とそれに伴う意思決定、緩和ケアや終活まで、ご相談に乘ります

主な活動内容

- アドボカシー活動
- 国内・海外との患者団体との情報交換
 - 患者同士の交流



脳腫瘍のアドボカシー活動

- 脳腫瘍研究を推進し、より早く新しい治療法が確立されることを目指す
- 脳腫瘍患者のQOL向上を目指す
- 脳腫瘍という病気の一般的認知を上げる



▲脳腫瘍の認知を高める活動－闘病体験の共有

JBTAをご支援ください

私たちの活動は会費収入と皆様のご寄付により支えられています。ご支援をお願いいたします

www.jbta.org/register/



国内・海外との患者団体との情報交換

- 海外の最新情報 ● 医療機関情報 ● 治験情報



▲希少がんmeet the expert: 国内でも主導的なスペシャリストによる脳腫瘍セミナー



患者同士の交流

- 患者交流会
- 医療関係者なども交えたセミナー ● Q&A



◀全国各地での患者交流会。互いの経験や最新の情報を共有し、より良い未来を模索する



◀毎年のBBQ親睦会

直近の実績

- IBTA (International Brain Tumor Alliance)
総会出席
- JSNO (日本脳腫瘍学会総会)出席
- JCOG x JBTA 意見交換会
- APBTA (Asia Pacific BT Alliance)発足



2019年IBTA（国際脳腫瘍ネットワーク）サミットにて国内外での脳腫瘍治療のさらなる発展を呼びかけました



将来的な計画

- 地方会・セミナー発足(関東/名古屋/関西)
- 学会などでの患者のアンメットニーズの発見 (AACR (アメリカ癌学会)、JCA(日本癌学会)、日本薬学会など)…
- 治療ガイドラインへの協力
- JCOGなど他の協力団体とより連携した活動を行う

一緒に戦いましょう！

患者さん・ご家族のほか、賛助企業・運営(HPなど)を手伝ってくださるボランティアの方など、大歓迎です

